

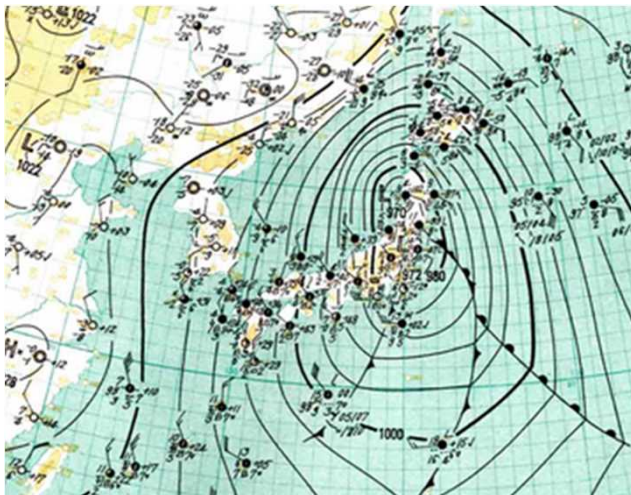
昭和45（1970）年1月30日から2月3日 急発達した低気圧による強風、高波

強風や高波による被害 ～1月に低気圧が急発達しながら太平洋沿岸を北上～

【概要】

昭和45（1970）年1月29日9時、東シナ海に発生した中心気圧1010hPaの低気圧が急速に発達しながら北東に進み、30日15時には四国沖で996hPa、31日3時には静岡市付近で台風並みの976hPaとなった。またこの頃新潟県南部に980hPaの別の低気圧が発生し、2つの低気圧は北上し31日夜には一つになって北海道の南海上を進み2月1日3時には釧路沖で960hPaまで発達した。

この低気圧は急速に発達しながら日本を縦走するという冬季としてはまれな経路をとったため、31日からは台風時のような強風が長時間にわたって吹き、2月1日は10mを超える高波となった。このため上越や佐渡の海岸護岸が高波のため決壊、糸魚川市では海岸の市営住宅がほぼ全滅するなど被害は全県に及んだ。この他にも雨と暖気のため雪解け水が急増したことによる堤防の決壊、突風による工場の煙突の倒壊、竜巻による木造作業小屋の全壊が発生した（被害概要は、「東京管区異常気象報告」による。人的被害：重症4人、軽傷5人 住家被害：全壊流出7棟、半壊6棟など。被害状況は、「新潟県地域防災計画、資料編」による）



地上天気図 昭和45年1月31日9時

最大風速、最大瞬間風速等の記録

	新潟	高田	相川	長岡
最大風速	18.2m/s 西 1日14時20分(起時)	15.3m/s 西北西 1日12時50分(起時)	23.8m/s 西北西 31日13時05分(起時)	15.5m/s 西 1日22時10分(起時)
最大瞬間風速	25.1m/s 西 1日10時01分(起時)	28.9m/s 西 31日7時21分(起時)	30.8m/s 北西 31日11時05分(起時)	
風速10m/s以上の持続時間	31日10時10分から 2日21時10分	1日8時00分から 1日16時30分	31日8時30分から 3日6時50分	31日9時15分から 3日11時00分

東京管区気象台異常気象報告から作成

県下は31日朝から強風が吹き、低気圧が停滞気味となったため暴風継続時間が長く3日間余にわたり吹き荒れた。